

## 実証における試験実施について

申請者が申請時に既存の自社データに基づいた実証を希望する場合は、申請技術として採択された後、実証計画策定において実証機関が当該データで実証が可能かを確認します。確認の結果、実証可能な場合は、新たにデータ等を取得する必要はありません。

確認の結果、新たに追加データ等を取得する必要性が生じた場合は、実証機関と申請者が協議をしたうえで、試験を組み込んだ実証計画を立て、試験を行う必要があります。

尚、試験に関する費用等の実費は、申請者の負担となります。